

名古屋学院大学
PROJECT
&N
社会連携センター

大学生が、
まちの未来をつくる。



名古屋学院大学 社会連携センター(名古屋キャンパスたいほう)

TEL | 052-678-4085 | E-mail | renkei@ngu.ac.jp

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号
名古屋市営地下鉄名港線「日比野」駅下車 徒歩5分

WEBサイトは
こちらから



<https://www.ngu.jp/and-n/>

LOOK
FORWARD

未来をともに進もう。

NGU 名古屋学院大学

名古屋学院大学 PROJECT &N

社会連携センター

とは

3つのまちづくりアプローチを通して、

地域のみなさんと地元を

盛り上げていく連携事業です。

“PROJECT &N(アンドエヌ)”の「N」は、名古屋学院大学を表す「N」。キャンパス周辺地域のさまざまな活動(PROJECT)に、私たちの力を掛け合わせる(&N)ことで、「盛り上がりを何倍にも広げたい!」「地域ともっと近づきたい!」「まちの未来と一緒に創り上げていきたい!」という想いが込められています。

1つのピースからつながるまちづくり

まちづくり

Community Development

3つのまちづくりって？

「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」の3つのまちづくりアプローチによって地域の課題を解決し、「地域の質（Quality of Community）」を向上させることで、キャンパスのある名古屋市熱田区、瀬戸市の活力を取り戻し、持続性の高い地域づくりを目指します。



地域商業 まちづくり

地域経済を
元気にしよう!!



学生参加による地域商業活性化や域外居住者にとって魅力的な地域ブランドの創出、大学キャンパス周辺の人的交流促進を行うことによって、経済効果の増大を促進するとともに、新しいビジネスチャンスを掘り起こします。



歴史観光 まちづくり

歴史をもっと
世の中に広げよう!!



大学キャンパス周辺の外国語観光案内による観光産業活性化や地域資源のコンテンツ開発による若年層への地域PR、訪問客に向けたツーリズムの提案を行うことによって、地域愛の育成と歴史観光の推進を図ります。



減災福祉 まちづくり

多世代交流の
輪を広げよう!!



健康運動教室の企画・運営による多世代交流の促進や大学キャンパス周辺での防災イベントの実施（子ども向け防犯教室、防災ワークショップの開催など）によって、災害に強いまちづくりを目指します。

全学部のNGU生が まちづくりに 関わることができます。

学年進行に合わせて、学生・教員全員参加の教育イベントと現場重視の調査・分析・提案を行う課題解決型授業(PBL)を組み合わせた**段階発展型カリキュラム**を導入。

1
年生

まちづくり提言コンペ

1年生が対象となる、全学生教員参加型のイベント。キャンパスのある名古屋市熱田区・瀬戸市の地域課題を学び、解決策を提案します。

1
↓
4
年生

課題解決型授業(PBL)

全学部の学生を対象とした共通の教養教育科目に「地域理解」の分野を設け、3つのまちづくりを学ぶことができるカリキュラムを用意しています。

3
↓
4
年生

地域フォーラム

3・4年次のゼミをベースに、全学生教員、市民や行政、企業、NPO団体などが参加するフォーラムを開催し、研究や活動の成果を地域に還元します。



地域商業まちづくり

Regional Commercial Community Development



貴重な経験！
地域の方と関わるのって

大きな支えになりました。
人々との関わりは、私の成長の

林 愛花 Hayashi Aika
現代社会学部 現代社会学科
参加プロジェクト: まちづくりカフェ「マイルポスト」

名古屋学院大学

PICK UP!
PROJECT

PROJECT&N

まちづくりカフェ
「マイルポスト」



焼きたてパンやフェアトレードコーヒー、ランチが大人気の学生運営のカフェ。地域や行政、大学内の様々な団体と連携し、各種イベントの企画・運営に関わるなど、熱田区日比野商店街の一員として活躍しています。

マイルポストの学生が中心となり「ワクワクおやこまつり」を開催！

毎年、3月と8月の年2回、本学キャンパスにて、マイルポストの学生が中心となり「ワクワクおやこまつり」を開催しています。おやこまつりは、地域で実践されている取組の相互理解と交流を目的に実施している親子向けイベントで、キッズワークショップやステージイベントのほか、20を超える個人・団体が出展・出演しており、毎回700名程の来場者が訪れます。



その他のプロジェクト

- ① 名古屋学院大学みつばちプロジェクト
キャンパス屋上で養蜂・採取したハチミツを商品化したり、採蜜イベントを行ったりしています。「全国学生養蜂サミット2019」にて最優秀賞を受賞。
- ② 熱田ブランド戦略プロジェクト
熱田区の資産である歴史や文化を発見・開発し、発信することにより、熱田区のイメージをより高める活動を行っています。
- ③ 熱田区内大型商業施設との連携事業
NGU×商業施設×専門学校の連携により、「ファッションショー」を開催。商業施設内の店舗のファッションをPRするだけでなく、学生自らがモデルとなるなど、活性化に貢献。
- ④ 地域商業まちづくりプロジェクト
商学連携を通じた地域活性化の取組に加え、新しいビジネスチャンスのプロデュースを行うなど、本学の強みを生かして地域の活力を牽引します。



歴史観光まちづくり

History Sightseeing Community Development



熱田区の魅力って何？

僕の知らない

素敵な地域だと知りました。

想像以上に歴史のある

須釜 リュウジ Sugama Ryuji

国際文化学部 国際文化学科
参加プロジェクト: あったか! あつた魅力発見市



名古屋学院大学

PICK UP!
PROJECT

PROJECT&N

歴史観光まちづくり
プロジェクト

名古屋市熱田区・瀬戸市の歴史と地域資源を発掘し、活用方法を考えることで、地域愛の育成と歴史観光を推進する活動です。実際に現地を訪れたり、イベントに関わったりすることで、地域の歴史と文化への理解を深めます。

熱田区の街中がイベント!

「あったか! あつた魅力発見市」に参加。

毎年11月に名古屋市熱田区内各所でイベントが開催される「あったか! あつた魅力発見市」には、約5万人もの来場者が訪れます。学生も授業の一環として、金山総合駅や宮の渡しに案内所を設置し「おもてなし案内係」として来場者への案内を担当した(写真上)ほか、宮の渡し公園にて「学生信長隊(学生有志により結成)」によるステージ運営(写真右)を行いました。



その他のプロジェクト

① PROJECT758

名古屋市熱田区を舞台とした地域の魅力を、オリジナルのアニメキャラクターや高精細な4K画質による動画放映などを用いて発信しています。

② セグウェイ観光プロジェクト

セグウェイそのものが持つコミュニケーション力を利用し、観光ガイドツアーを社会実験という形式で重ねています。

③ あつた観光外国語ガイド

語学力を生かし、外国人観光客に熱田区の魅力を発信するプロジェクトです。過去に、熱田神宮や白鳥庭園の英語・中国語版のガイドを作成しました。

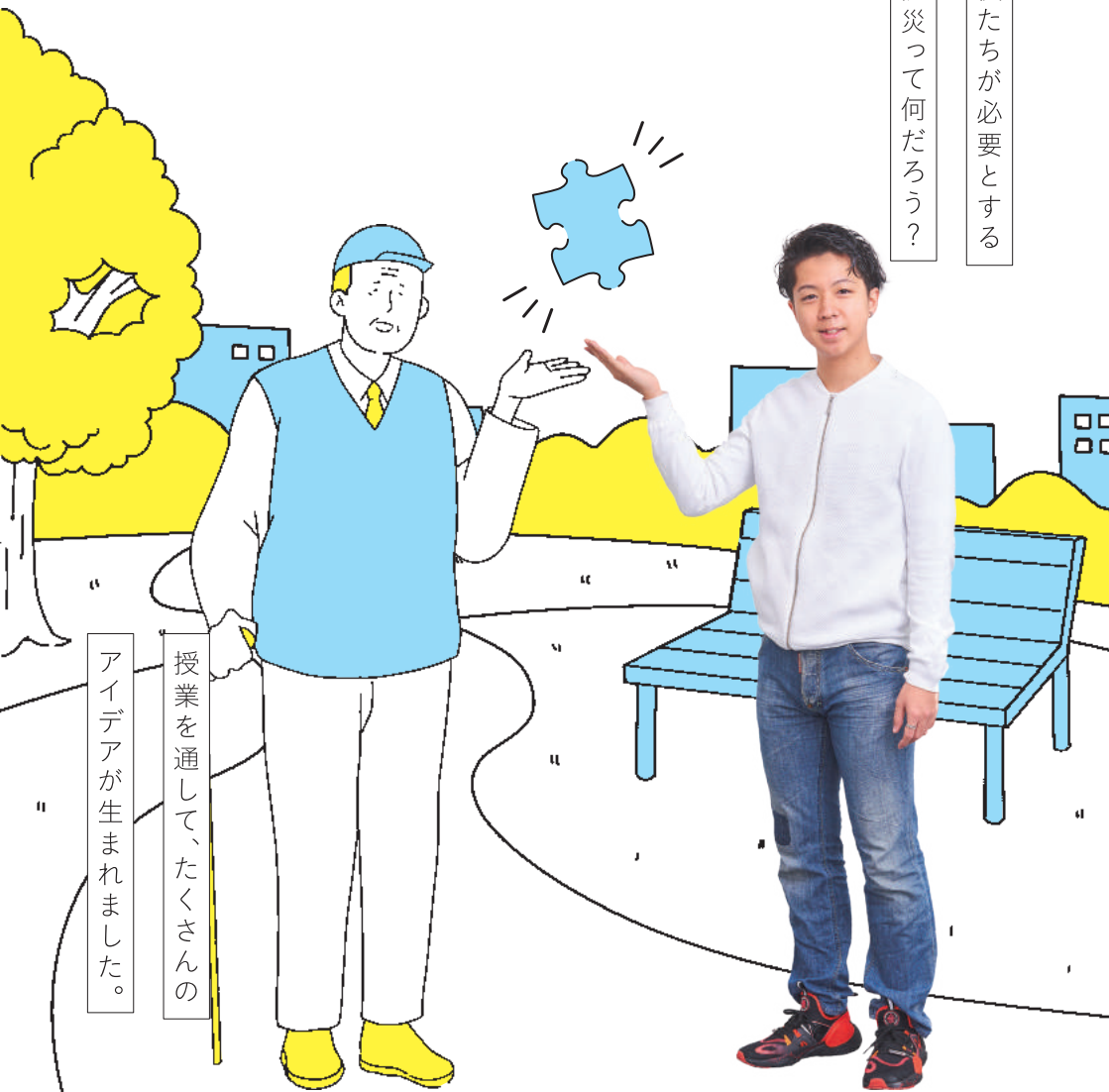
④ 名古屋国際会議場プロジェクト

キャンパスに隣接する名古屋国際会議場にて、まちづくり活動に関する情報や、周辺地域の観光資源の紹介など、PROJECT&Nの情報発信の拠点として活用しています。



減災福祉まちづくり

Disaster Reducation Welfare Community Development



防災って何だろう？

僕たちが必要とする

アイデアが生まれました。

授業を通して、たくさんの

リザラガ 侑成 Lizarraga Yuusei

経済学部 経済学科

参加プロジェクト: 減災福祉まちづくりプロジェクト

名古屋学院大学

PICK UP!
PROJECT

PROJECT&N

減災福祉まちづくり プロジェクト

大地震や大型台風などの災害に対して、被害を最小限に減らす「減災」という考え方に福祉的視点を取り入れることで、「災害に強いまちづくり」を目指します。年間を通して、防災イベントの実施を積極的に展開しています。



レクリエーションとして楽しめる 「防災ゲーム」を企画制作。

講義を通じて、福祉施設における減災対策を学ぶとともに、防災に関するカードゲームを何種類か体験することで、カードゲームそれぞれのメリット・デメリットを検討。「要介護高齢者向けのカードゲームはどのようなものがよいか」について何度もディスカッションを重ね、福祉施設内でも「レクリエーションとして楽しめる「防災ゲーム」を企画制作しました。



その他のプロジェクト

① 熱田区地域支えあい創出事業

「住民同士がつながり、地域の困りごとを解決できる場の創出」を目的に、地域の方々と課題を共有するための取組を行っています。

③ 大学生消防団

「名古屋市大学生消防団」として、防災訓練への参加や大学祭での消防団のPR、応急手当普及員の講習受講などに取り組んでいます。

⑤ なごや健康カレッジ

スポーツ健康学部を中心とした多彩な教授陣と学生が、ユニークな内容を企画・運営し、市民の皆さまの健康をサポートしています。

② 自主防犯団体「熱田プロテクトチーム(APT)」

熱田警察署の指導のもと、地域での防犯PR、パトロール活動、子ども向けの防犯教室を開催し、自主防犯活動の重要性を伝えています。

④ 地域活性化支援組織LINKS

名古屋市・瀬戸市での「IT講習会」開催、防災訓練にてツイッターを活用した情報発信など、IT/SNSを活用した取組を行っています。

⑥ 災害復興支援チームあすなる

2011年4月に結成後、被災地でのボランティア活動、地元名古屋市熱田区の防災公開講座への参加など様々な活動を行っています。

企業でつながる

名古屋学院大学では社会連携教育に積極的に取り組んでいます。社会連携センターでは、学生がイベントを通して様々な企業と接することができる機会を提供しています。

深く学べました。

関わりについて

企業と地域の



参加したことで

プロジェクトに

金田 知華 Kanada Haruka

経済学部 経済学科

参加プロジェクト: COC+多治見プロジェクト

Amazon
多治見
フルフィル
メントセンター



大塚製薬
株式会社



COC+多治見プロジェクト

2016年より、岐阜県多治見市にて毎年開催される名古屋学院大学主催の一泊二日の合宿セミナー。多治見市役所全面協力のもと、地域の産業振興や企業誘致、観光、文化体験などをテーマに、多治見市の企業や商店街、美術館などを訪問し、学生の視点でまちづくりを考えます。

大塚製薬株式会社と連携した取組

名古屋学院大学では、2018年度に連携協定を締結した大塚製薬株式会社と「ソーシャルヘルス・リレーション」に関する取組を実施しています。活動の一環として、大塚製薬より「熱中症対策アンバサダー」に認定された学生が講師となり、地域のみなさま向けに健康セミナーを開催しています。

PICK UP! POINT

&Nのココがスゴイ!

まちの魅力に気づく!

たくさんの発見を重ねるうち、
キャンパス周辺地域が「第二の故郷」に。

NGUでは、1年次からキャンパス周辺の地域課題と向き合い、解決策を提案する「まちづくり提言コンペ」に参加します。まちを歩いたり地域の方に話を聞いたりするうちに、キャンパス周辺の魅力に気がつき、その地域への愛着が生まれます。



POINT
01

学びが深まる!!

キャンパスを飛び出し、
さらに実践的な学びを。

教室での学びだけでなく、地域をフィールドにした「課題解決型授業(PBL)」を数多く開講しています。まちの活性化に取り組むうちに、コミュニケーション能力や課題解決能力が身に付きます。



POINT
02

可能性が広がる!!

行政や企業とのつながりが、
将来の自分につながる。

「PROJECT&N」では約30のプロジェクトがあり、それぞれに企業や行政との関わりがあります。社会を支えている人々との出会いによって自分の特性を知り、将来を考えるきっかけとなります。



POINT
03

学生に聞いてみた /

REAL VOICE

地域商業まちづくり

まちづくりカフェ 「マイルポスト」

参加した理由

生き生きと話す先輩方を見て、
自分も挑戦しようと思いました。

初めてマイルポストを見学した際に、先輩方がイベントの企画について生き生きと話合っている姿を見て、会話が苦手な自分でも「なんだか楽しそうだな」と感じました。学生が商店街や地域と関わる経験は貴重だと思い、参加しました。

後輩へのアドバイス

少しでも興味を持ったら、何事にもトライしてみることが大切だと思います。自分自身の経験となるだけでなく、思いがけない人との出会いがあります。大学生にしかできないことにぜひ挑戦してみてください！

林 愛花
Hayashi Aika
現代社会学部
現代社会学科



歴史観光まちづくり

歴史観光まちづくり プロジェクト

参加した理由

授業の一環で、熱田区の
魅力を掘り下げる機会がありました。

授業がきっかけで参加したプロジェクトでしたが、イベント当日までに熱田区について学ぶことで、自分の知らなかった地域の魅力を知ることができました。当日は熱田区の魅力を来場者の皆さんに伝える役割を通して、地域の方々のあたたかい心に触れることができ、感動しました。

後輩へのアドバイス

熱田区は、私たちの知られざる歴史や魅力があり、とても素敵な地域です。ぜひこのプロジェクトに参加し、その魅力を人々に伝えるだけでなく、地域の皆さんとの交流も大切にしてほしいと思います！

須釜 リュウジ
Sugama Ryuji
国際文化学部
国際文化学科



減災福祉まちづくり

減災福祉まちづくり プロジェクト

参加した理由

もともと防災に関心があり、
より理解を深めようと思いました。

もともと防災に関心があり、「減災福祉まちづくり」の講義を受講しました。講義で防災にまつわるプレゼンを行う機会があり、それがきっかけでこのプロジェクトに参加しました。プロジェクトを通じて、被災した際に役立つ知識を得ることができました。

後輩へのアドバイス

地域と密接にかかわっているNGUだからこそ、学べることがたくさんあります。入学後は思いきり学んで、楽しんで、そこで得た経験を将来に活かしてほしいですね。

リザラガ 侑成
Lizarraga Yuusei
経済学部
経済学科



企業でつながる

COC+ 多治見プロジェクト

参加した理由

魅力的な企業と出会い、
交流できるチャンスがありました。

企業見学だけでなく、企業の方々や課題解決型のグループワークに取り組めることが、参加を決めた理由です。Amazon多治見フルフィルメントセンターでは、実際の仕事の様子を見たり、社員の方に色々な相談にのっていただいたり、とても貴重な体験ができました。

後輩へのアドバイス

少しでも興味があれば挑戦しましょう！得られることは多いはず。私自身、色々なことに挑戦することで成長を実感しています。ただ、挑戦を楽しむことは忘れないで。何事も楽しんだ人の勝ちですから。

金田 知華
Kanada Haruka
経済学部
経済学科

